

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	このこのアート京都	事業所における自己評価結果			公表日	2026年 2月 1 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	スペースを有効利用できるように日々改善対策を協議している。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	マンツーマンで支援が必要な時期をみて人員配置をしている。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	アートに取り組みやすいよう、画材など素材を配置している	アート活動後、特に冬季に手を洗うなど児童の身体が冷え切るので、お湯が出る設備が必要である。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	アートに取り組みやすいよう、画材など素材を配置している		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	クールダウンする必要がある場合、いつでも使えるようにしている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	モニタリング等を通して、周知している。	一部のアルバイトに直接伝えるのが難しいので、共有ノートなどを駆使し伝えている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表をスタッフ間で共有し、協議をしている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	各スタッフと定期的に面談をしている。朝・終礼時での意見交換。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	定期的な研修を行っている。	今後もさらに研修などをかさね、工場を図る。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	面談などを利用し、アセスメントを行っている。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	モニタリングや児童会議を行い、検討している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間での読み合わせ、会議を行っている。	今後も、会議等で共有し、計画に沿ったより良い支援を行っていく。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	している。		
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画を立てる際、五領域を網羅し設定している。	今後もさらなる向上に向けて行っていく。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	している。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	している。		

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	創作も個人作品と全体作品の両方で取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝・終礼において共有している。	その日欠勤のスタッフに対する申し伝えを共有ノートにて行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼時必ずその日、次の日の打ち合わせをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	記録している。	検証・改善はモニタリング等で行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	行って、見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	創作活動を軸都市他の3点も組み合わせバランスをとっている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	アートの画材や素材を自己選択している。おやつを何種類か用意し、自分で選択できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	積極的に参加している。	全職員が経験する機会を持つるようにする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	要請があれば会議に参加し連携した支援が決まれば行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	年間計画等、メール等で連絡交換している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	親御様を通して聞き取りを行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	要請があればいつでも伝える準備がある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	センターとは連携をとれている。	スーパーバイズの助言が必要な場合は受けれる。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	0	地域の公園で地域の子供とのふれあいや遊具の譲り合いを通して交流する機会を持っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	要請があれば参加する。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	お送り送迎時や連絡帳、お電話などでしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	連絡帳や面談時に障害特性等を伝えたり対応策を提案したりしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時にしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談で丁寧に聞き取りをしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	保護者への説明後同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談はもちろんだが日々親御様からのお電話などを通して対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	父母の会を求める保護者が多いため、公の交流はしていないが自社施設での展覧会時に交流の機会を含んでいる。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	保護者には契約時に周知している。苦情があった場合は迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	日々のブログや連絡帳でお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	自社施設での展覧会などを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬・・発作等は面談時に確認。変更等あつた場合はその都度ご連絡いただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	医師の指示所に元々く、親御様からの共有により行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	定期的に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎日の終礼時にその日のヒヤリハット案件を共有し、再発防止策を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に研修をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	している。	定期的に勉強会を行っている。